

人生の指針となった掃除道

愛知県

やまなか
山中

あっこ
敦子



2001年ころ、鹿児島の大
会に参加して掃除を知りました。

2006年設立の倫理法人会
で掃除をやるうという話になり、
私は不安でしたが、鍵山相談役
の「どんなことでも最初に手を上
げることが大切です」の言葉で、
代表世話人を引き受けました。

2007年、第一回「豊田掃除

に学ぶ会」を、相談役ご参加のも

と、市立拳母小学校で行いまし

た。小学生が「僕は今まで一回も

ほめられたことがありませんで

した。今日はトイレを磨いてきれ

いにしたらすごくほめられまし

た。とても嬉しかったです」と発

表し、相談役の本に載りました。

掃除の輪を広げたいと学校に

話すと、夏休みに全校で行いたい

と言われ、その数200名。

リーダーが足りません。田中

義人会長の会社の社員さんや豊

橋、名古屋、三河などの会に支援

いただきました。

次が道具です。他の中学校か

ら全校生徒による夏休み清掃活

動の要望もあり、200人分を

買いそろえました。

このきれいをさらに広げたい

と思うようになり、道路で伸び

放題の草に着目しました。世界

のトヨタなどといわれ、世界の人

が通る道路の中央分離帯には反

対車線が見えないほどに草や木

が伸び、道路の落下物にゴミが

まみれ、まるで畑のようでした。

国道管理事務所に「交通に支

障がなければ掃除はしません」と

いわれ、決心しました。2016

年7月、車が少ない日曜日早朝、

思い切って第一歩を踏み出すと、

不安は一瞬で消えました。

この輪も広がり、新しいリー

ダー古井弘二氏が頑張っている

ことは、彼の寄稿文をお読みく

ださい。皆さまのご支援で掃除の

輪が広がり、掃除道は私の人生

の指針です。

(470034愛知県豊田市上原町1丁目30-1)

続けければ謙虚な人に！
感謝し精進します

京都府

門川 かどかわ

大作 だいさく



心が震えました。25年ほど前
にご縁を頂き、トイレの便器を
黙々と磨かれる鍵山相談役や参
加者のお姿に、「人間の尊さは掃
除をする姿を見ればよくわかる」
との父の言葉を思い出しました。

当時、教育委員会職員。この感
動をいつか教職員・子ども・保護
者と共有したいと念願しつつ参

加を続け、貴重な出会いと学び
の連続でした。

転機は2004年。本市主催
の教育フォーラム(全国から3千
人規模)で鍵山相談役にご講演を
いただいたこと。あの感動は忘
れません。参加者の心を動かし、
翌年教職員有志やPTAのリー
ダーらによる「便きよう会」が発
足。毎月第2土曜の朝7時から
学校などで子どもや保護者、地
域の方々と汗する「月例会」がス
タートしました。

また2008年、私の市長就
任早々の、「日本を美しくする会
全国大会 in 京都」が契機となり、
「京都新洗組」が誕生。学生さん
中心に、毎土曜朝6時から繁華
街の木屋町・高瀬川をお掃除。
「毎週続ける！ 何と！」と思い

ましたが、今も志高い学生さん
や地域に受け継がれ、この間、台
湾、インド、ルーマニア等からの
ご参加と世界と心が繋がります。

市民ぐるみの「まち美化総行
動」や京都議定書誕生を契機とし
たゴミ減量の取組み等とも相まっ
て「京都のまちは美しい！」とのご
評価も。感謝に堪えません。

コロナ禍で格差・孤立、環境破
壊など様々な社会課題が顕現化
し深刻です。そんな中、誰一人取
り残さない！ SDGsの取組
みは、掃除に学ぶ会の理念とも
共通しています。

「ひとつ拾えばひとつだけき
いになる」

続ければ自分が変わる、謙虚
な人になれる。鍵山相談役のお
言葉を胸に刻んで精進します。

「知」と「実践」

東京都

縄田 なわた
良作 りょうさく



左脳型の私が、森信三先生を
人生の師と決めたのは、1993
年43歳のときでした。以来、「知」
（読書）と「実践」は私のテーマと
なりました。

森先生には、「足もとの紙くず
一つ拾えぬ程度の人間に何がで
きよう」偉大な実践家は、大な

る読書家である」などの語録が多
くあります。「一眼は遠く歴史の
彼方を、そして一眼は脚下の実践
へ」は、先生の見識が結晶化した
名言だと思えます。

掃除道創唱者鍵山秀三郎相談
役にいただいた『人間学言志録』
にあります。「実行を貴ぶ人は、
志は立派だが往々読書をしない。
読書と実践は車の両輪で互いに
相まってより強力なものになる」

相談役は、「若いころは寝る間
も削ってでも」ほどの読書家だと
知る人は、多くないと思います。

森先生と鍵山相談役は、教育
と経営と世界は違っても、生き
方や考え方は通じるものがあり、
とても共感しています。

さて、1995年発足の北九州
掃除に学ぶ会では、学校をお借

りするのが難しく、半年に一回程
度の開催でした。決まると、大下
英勝代表と石丸龍さんの3人で、
嬉々として夜遅くまで計画をつ
くり、相談役は都合がつけば東
京からおいでになりました。

会は大盛会で子ども感動も
大きく、以来私は「掃除のすばら
しさ」を多くの方に伝えたいと思
い続けていました。

個人的には、海外赴任5年を
含めて地域清掃を続け、2016
年から「羽田街道おもてなし清
掃」の世話人をしました。（写真左）

今「掃除の効用」を皆様にお伝
えする『清風掃々』と『掃除道記
念誌』の編集に携わり、「知」と
「実践」の経験が多少でも生かせ
ています。

（140014東京都品川区大井1-16-1202）

父子トイレ掃除の思い出

北海道

田村 匡たむら ただし



1996年札幌掃除に学ぶ会初のトイレ掃除でのことです。

中学3年の次男光晴に「トイレ掃除にお前も行くか?」と聞くと、意外にも「うん」と。私は「立派な社長さんが多いから、返事だけは

きちんとすれよ」と言った。

光晴は「学習障碍児」で、成績は13段階評価最低のMランク。地方の農業高校の道しがなく、しかし本人も家族も親元を離れて寮生活ができるだろうかと思んでいた時期だった。

会場では、汚れた便器が異臭を放ち、皆恐る恐る便器に向かった。光晴はと見ると、黙々と便器を磨いていた。感想発表は、私が司会進行した。光晴は無理だと思っただけ避けていたら、他の人の話が短かくて時間があまり、当てざるを得なかった。

「田村光晴君!」と呼ぶと、大きな声で「ハイッ!」。そして普通に体験を話し、大きな拍手を受けた。教頭先生の講評では「一番すばらしい発表でした」とおほめい

ただいた。「光晴が人前で話が出来た」と、私は涙があふれた。

帰り道「光晴、お前きちんとできたなー」「うん、お父さんに恥かせないように一生懸命やったよ。また涙があふれた。「光晴、お前一人で寮生活できそうだな」「うん、お父さん僕もそう思った」

北海道新聞の記者が、私が涙ぐんだのを不思議がり、取材し記事にした。それを読んだお袋から電話があった。お袋は涙声で「嬉しかった。光ちゃん良かったね」と。私も声が出ず、80を越した母親と50近い息子が、電話でおいおい泣きあった。

数か月後、光晴は幌加内農業高校入学、3年で卒業。今はトラックドライバーとして独り立ちしている。

「矛盾のままの平和」に 安住するなかれ

神奈川県

中田 なかだ
宏 ひろし



1989年、松下政経塾で鍵山秀三郎相談役とのご縁に恵まれた。その日のトイレ掃除は衝撃的な感動だった。それまで便器に素手を入れたことも、入れようと考えたこともなかったが、「手は洗えばきれいになる」と知った。「目は臆病でも手は勇気がある」

と知れば、怖いもの、できないこととはない。

その日、「オルテガ」(色摩力夫著)という本をいただいた。エリートという言葉の定義に、「断れば断ることのできる特別の社会的責務を、敢えて受諾する者である。『自分に要求するところ多く、自分自身の上に困難を積み重ねる者』である」とあった。これが本来のエリートであり、現代日本社会で意味する『いい会社』、『いい学校』に連なる人を指すのではないと知った。当人の義務でも責任でもないことを自ら進んで果たす人がエリートなのだ。

その姿を鍵山相談役に見て、私の行動も変化した。ゴミを拾うようになり、出張先には歯ブラシも剃刀も持って行くようになった。他人の目のない所でも、社会や誰かの負担になることはやるまいと考えるようになった。政治では、私は誰も手を付けなかつたことに着手した。横浜市長在任中、市営バスの統廃合、ゴミの分別化、売春街の一掃、労働組合利権の排除、適正な歴史教科書採択等々、やっておいで良かった。気付かぬふりをしていれば誰も反発せず、「矛盾のままの平和」に安住できた。

橋などの「定礎」に、年月日とともに時の首長の名前が刻まれるのは常だが、税金で造った施設に自らの名を書き遺すことをしなかつた。これも鍵山相談役に学んだことだ。

(22)0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-14-14

新弘ビル7階

手は勇気があるんだよ！

千葉県

野老^{ところ}

真理子^{まりこ}



わが社は、千葉県九十九里地域のほぼ真ん中の大網白里市で不動産業を営み、来年初立50周年を迎えます。良いお客さま、良い社員さん、地域の方々に支えられたからこそこの今を実感してい

ます。そしてもうひとつ、鍵山掃除道に出会ったことで、今を迎えることができました。

創立20周年の1993年、私は二代目になり、経営者の道を模索する中で鍵山秀三郎様に出会いました。鍵山様の話をお聞きして、働く人たちが仕事を通して幸せになる、仕事に関わるすべての人たちがわが社を通して幸せになる、そんな会社が大切だという考えが、いつしか自分の指針になりました。

掃除に学ぶ会で、雑巾やたわしの使い方、鏡の拭き方など、相手を知り、道具をよく知ること、道具たちが役に立って目的を達成させてくれるなど、たくさん学びをいただきました。

「心をきれいにするには、目に

見える汚い所乱雑な所を、わが手を使ってきれいにすること！」「手は勇気があるんだよ！」「たかが掃除されど掃除、たかが草刈りされど草刈り！」「上に立つものは世話役に徹する、だから代表世話役！」など、どれも判断の原点になってさまざまなことを乗り越えてきました。

まだまだですが、働く人の仕事時間の4割を300以上のボランティア活動にあてながら会社を黒字にする、仕事以外の人たちが年間3万人来社され、リクルートも営業もいらぬという特徴をもった会社になりました。この先も教えていただいた考え方ややり方を大切にして生きていきたいと思っています。

(283)052 千葉県東金市二之袋121-4

泣き虫会員初心を忘れずに

大阪府

愛原あいはら

啓介けいすけ



2010年10月、私が地元中学校のPTA会長だったころ、知人の紹介で東大阪市内の中学校月例会に参加したのが、掃除とご縁の始まりです。

渡辺ヒサさんがリーダーでした。わりと抵抗なくお掃除をしておりますが、イカツイ野球

部の男子中学生が「汚い臭い嫌やー」と、真面目にお掃除をしません。すると他の部員も一緒に悪ふざけして、なかなかお掃除をしません。

ヒサさんは小さな身体で、しっかりと、そして優しい愛情のある声で、「そんなやつたらアカンよ」「嫌なことも一生懸命やつたら成果が出る」「両手を使って、練習と思ったら体力もつくよ」「水は大切に使うの、地球で水を贅沢に使えるのは日本だけなのよ」と、一生懸命子どもたちを諭されました。

ヒサさんは、先生には「友だち先生になつたらあかんよ」と言われ、先生も生徒もわけ隔てなく指導されていました。学校で教えてくれないようなことです。お

ばあちゃんが孫を叱るような懐かしさがそこにあり、強く印象に残っています。

そんなこともあったのか、閉会式の班別感想発表では、私は発表の指名を受けたのですが、胸が熱くなり泣いてしまつて、話がともにできませんでした。

それから12年、あつという間でした。掃除に学ぶ会で掃除を続けてきたことで、気づける価値観や本質を見抜く力が備わつたように思います。

今年第13回を迎える関西ブロック大会in奈良。知恵を出し合い、参加者が安心して来てくださることを念頭に、関西ブロックの後方(広報)支援でお世話させていただきます。

(573,006)大阪府枚方市伊加賀西町2-3-1001

毎朝のお掃除で地域に貢献

熊本県

原田 はらだ

益喜 ますき



私は、天草市の病院でケースワーカーをしています。2008年2月、仕事のことと壁にぶつかり、生き方や進む道の手掛かりを求めて、地元天草の本屋さんに入ったときのことです。

たくさんの書籍の中で目に留まったのが、鍵山秀三郎先生の

『二日一話』でした。手に取り、パラパラとめくったところ、大会社の社長さんがお掃除をされていることにビックリし、早速購入し夢中で読みました。

上場会社の社長でありながら、全然偉そうでなく、私の心に優しく語りかけていただきました。お言葉の一つ一つに重みがあり、心にズシンと伝わってきました。

この方は普通の人とは違う、この方の教えを学びたいと、翌朝から一人で街中のゴミ拾いを始めました。最初は周囲の人たちから色々言われましたが、それでも止めずに続けていたら、そんな人たちも応援してくださるようになりました。毎朝のお掃除は14年になります。大切なことを身をもって学びました。

1. お掃除の大切さを伝えたいのなら、実際にお掃除をやっている姿（行動）を示すこと、それを続けていくともっと伝わっていく。
2. 街のゴミを拾って歩くと、人は喜び、自分も嬉しくなる。
3. 善行の継続は人の意識を変えてしまう。

お掃除によって、街から交通事故が減少した、という声も聞きました。子どもたちが、ゴミ拾いに積極的に参加してくれるようになりました。

鍵山様は書籍やお手紙を送ってください、鍵山イズムを学ばせていただきました。おかげさまで、元気に朝を迎え、今日もお掃除に取り組んでおります。

(863 2171 熊本県天草市佐伊津町1933)